



嚥下造影(VF)と嚥下内視鏡(VE)の検査の違いとは？

▶ 嚥下造影(VF)検査

造影剤の入った模擬食品を用いて、色々な姿勢で摂食し、嚥下動態を観察する検査です。



喉に残っているところ



気管の中に食物が入っているところ

▶ 嚥下内視鏡(VE)検査

鼻咽腔喉頭ファイバーを鼻腔から挿入し、咽頭腔の様子を観察しながら、実際の食物を用いて、嚥下諸器官、食塊の動態を観察する検査です。



泡状に見えるのが唾液です



痰

栄養チューブの周りに痰がついています

VF検査とVE検査の比較 →

どちらが、優れているという訳ではなく、両者の特性に応じて選択されます。

	VF	VE
被爆	あり	なし
手軽さ	×	○
実際の摂食評価	×	◎
口腔評価	○	△
咽頭・喉頭評価	◎	◎
食道評価	◎	×

ちょっと まめ知識！



「嚥下」という言葉

日本語で、「嚥」という難しい漢字が使われ、口へんに燕(つばめ)と書いて「飲み込む」という意味の動詞です。一方英語で嚥下はswallowと言います。語源は違いますが、名詞の「ツバメ」と、動詞の「飲み込む」として使われています。

引用: 藤島一郎: 目に見える嚥下障害. 医歯薬出版

ご不明なことがありましたらNST委員までご相談下さい！

摂食・嚥下障害看護認定看護師
森田しおり

平成26年度NST臨床実地研修報告

当院NSTでは、平成26年度NST臨床実施研修を5月に実施しました。研修実施期間は5月13日～23日までの間の8日間で、当院NSTのスタッフ(10職種)による講義と実習の合計40時間の研修を実施しました。研修最終日にはNST Directorの棚橋医師より修了証が授与されました。



今回当院でNST臨床実地研修を修了された
長良医療センター看護師 浅野真紀子さん

平成26年度 第1回 NST研修会報告

2014. 6. 5 (水) 17:30～18:30 3階講堂

テーマ『NSTに必要な基礎知識』

～栄養アセスメントとプランニングとは？

栄養モニタリング、身体計測をやってみよう！～

第1回目の今回は高齢者のPEM（蛋白質・エネルギー低栄養状態）や、低栄養のスクリーニング法などNSTに関する基礎知識について、身体計測方法についてを実践を交えながら勉強しました！



身体計測実践中♪

まだ研修会に参加したことのない皆さんも栄養について楽しく学びませんか？次回も多数の参加お待ちしております★

お知らせ

第2回 院内NST研修会<< 静脈栄養管理を学ぼう Step1 >>

7月2日(水) 17:30～18:30 3階講堂

第3回 院内NST研修会<< 静脈栄養管理を学ぼう Step2 >>

8月6日(水) 17:30～18:30 3階講堂

どの職種でも参加可能です。栄養に興味のある方や、新人職員の皆様ぜひご参加下さい！